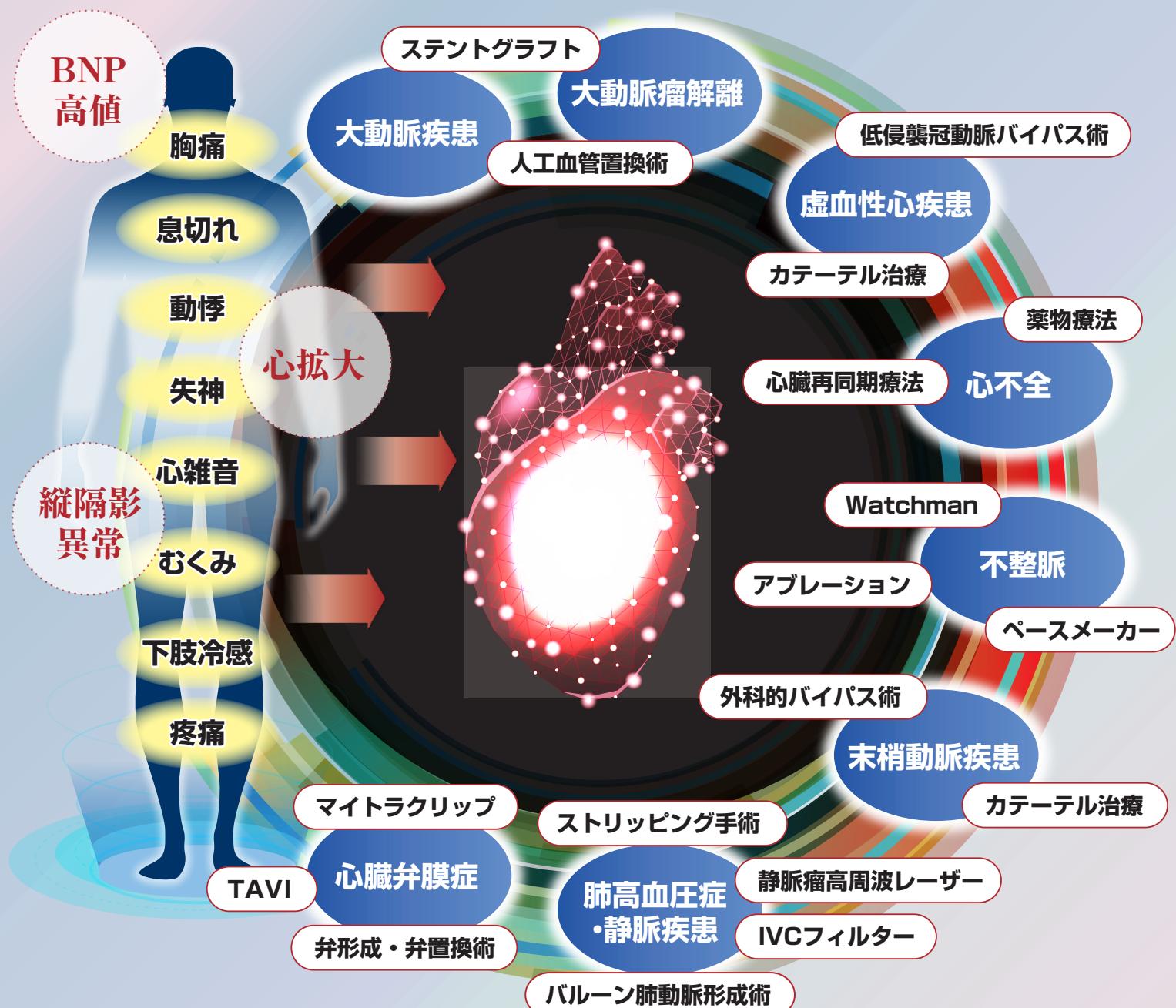


〈病院の理念〉社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します

特集 循環器ユニット

循環器内科と心臓血管外科が連携する
ハートチームによる「ユニット一体型診療」



Super Smart Hospital Project



[全診療科からの紹介可]

循環器医療のワンストップ拠点－ハートチームが協力して最善の治療に尽力します



循環器内科 科長

森田 英晃

専門分野:虚血性心疾患/末梢動脈疾患
(カテーテル治療)、
心臓弁膜症(TAVI, Mitra Clip)
資 格:日本内科学会総合内科専門医、
日本循環器学会循環器専門医

心臓血管外科 科長

大門 雅広

専門分野:大動脈疾患、虚血性心疾患、弁膜症、
末梢血管疾患
資 格:日本外科学会外科専門医・指導医、
日本心臓血管外科学会心臓血管外科専門医・指導医、
日本循環器学会循環器専門医

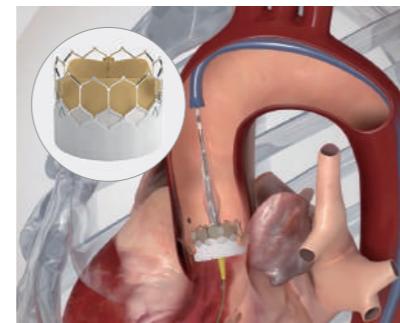
日頃より、多くの患者さんをご紹介いただき、心より御礼申し上げます。

本院では、2000回を超える Cardio Vascular Conference を通じ、循環器内科と心臓血管外科が緊密に連携する「ハートチーム」の文化を長年育んでまいりました。この伝統を基盤に、2022年7月に医局を統合、そして本年7月22日の新本館グランドオープンに伴う外来の一体化により、両科の協力体制は「循環器ユニット」としてさらなる進化を遂げました。診断から内科的・外科的治療、慢性期管理に至るまで、**切れ目のない総合的な診療体制**を確立しております。特に、大動脈弁狭窄症に対するTAVI、僧帽弁閉鎖不全症に対するMitra Clip、左心耳閉鎖術(Watchman)など、高度な低侵襲治療を積極的に提供しております。これらの手技は常に内科医と外科医が協働して行い、予期せぬ事態にも即座に対応できる万全の体制をとっております。多くの病院では内科・外科が分離しがちな循環器疾患の治療において、この「**ユニット一体型診療**」こそが本院の最大の強みです。また大学病院ならではの他科との協働も活かし最適な診療を提供できる体制を構築しております。

息切れ、浮腫、胸痛、労作時胸部圧迫感、動悸、失神などの症状でお悩みの患者さんがいらっしゃいましたら、どうぞ安心してご紹介ください。また、急性冠症候群や心原性ショックなどの緊急症例は**循環器ホットライン**、大動脈緊急症や血管閉塞を疑う場合は**大動脈ホットライン**までご連絡ください。循環器内科・心臓血管外科いずれ宛てのご依頼でも、ユニットとして責任を持って対応いたします。引き続き、地域医療への貢献に尽力してまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

循環器内科 Topic

透析患者さんに対する TAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)治療を開始



高度の大動脈弁狭窄症に対して開胸することなく**低侵襲**で体に負担の少ない、入院期間の短いカテーテル治療は、良好な成績とともににより適応を拡大ってきております。この度、本院では**透析患者さん**に対する**TAVI**が可能となります。患者さんの最適な治療を、ハートチームで協議して行ってまいります。

患者さんが息切れ・めまい・胸痛・透析中の血圧低下などの症状がございましたらいつでもご紹介ください。

心臓血管外科 Topic

MICS(低侵襲心臓手術)を本格導入

当科ではこの度、**MICS-CABG(低侵襲冠動脈バイパス術)**および**MICS-MVP(低侵襲僧帽弁形成術)**を本格的に開始いたしました。

MICSは、従来の胸骨を大きく切開する方法と比べて、小さな切開で手術を行うことが最大の特徴です。これにより、術後出血量の減少、早期の回復、美容面での改善が期待できます。特に高齢の患者さんや早期の社会復帰を希望される患者さんにとて、大きなメリットがあります。最新の技術と経験豊富なハートチームにより、患者さんの負担を最小限に抑えた質の高い心臓外科治療を提供してまいります。



循環器内科/心臓血管外科共通 Topic

ホットライン 医療関係者専用電話

緊急時、当院の医師が直接ご相談承ります

循環器内科ホットライン

大動脈ホットライン

365日
24時間
対応



緊急性が高い、入院加療が必要な患者さんご相談に対し、専門医がダイレクトに対応します。診断・検査・治療方針など判断に迷う症例の相談窓口として広くご連絡をお受けさせていただいております。



循環器内科 Topic

大学病院でも屈指の実績

冠動脈カテーテル件数 (2020~2024年)

心臓カテーテル検査 → **5,106件**
経皮的冠動脈形成術 → **2,068件**

「パルスフィールド アブレーション」開始

食道や神経、血管、肺などの心臓周囲の組織にダメージを与えることなく心筋細胞だけをアブレーションすることができます。

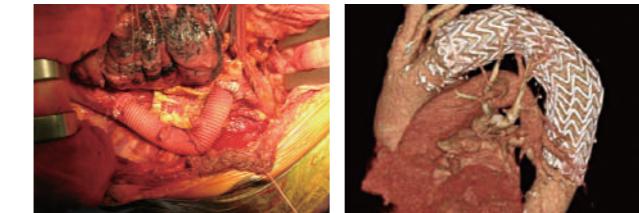


心臓血管外科 Topic

大動脈疾患治療の最前線と当科の強み

当科は、大動脈瘤、大動脈解離といった大動脈疾患の集学的治療において、国内有数の実績を持ちます。

- 遺伝性疾患への対応:**マルファン症候群などの遺伝性結合織疾患に対する手術治療に加え、遺伝子検査や専門カウンセリングを提供。患者さんご本人やご家族に対し、外来で長期的な予防と管理(フォローアップ)を行っています。
- 個別化治療:**患者さんの全身状態や予後を考慮し、低侵襲治療(ステントグラフト)から複雑な外科手術まで、最適な治療を選択・実行しています。



循環器内科/心臓血管外科共通 Topic

患者さんに快適 外来診療ユニット制

病院新本館のグランドオープンにより、外来は循環器内科、心臓血管外科を擁する「循環器ユニット」に移転し、診療は内科も外科もワンフロアで完結します。

病棟を含めて「患者さんに寄り添う温かい医療」をテーマに、患者さんにより快適に過ごしていただける環境を整えています。



入院手続きから療養に関するご相談まで 「患者サポートエリア」のご紹介

～今号より定期的にお知らせいたします～

No.1



2025年7月22日に新本館がグランドオープンし、1階に患者サポートエリアが設置されました。

当エリアでは、入院される患者さんの入院前面談をはじめ、入院の手続き、かかりつけ医相談や他院予約などの医療連携に関わる内容、療養生活の相談や肝疾患相談などに関わる内容など、分かれていた各種窓口業務をワンストップで行える体制を整えています。

入院前面談では、看護師、薬剤師、栄養士、歯科衛生士と連携しながら、入院前に必要な情報を集約しています。入院生活を円滑に開始できるように、面談、口腔内の健康チェック、栄養状態の確認、薬剤の休業確認などの支援を行っています。また、退院後の生活を見据えた聞き取りや情報提供することで、安心して入院していただき退院に向けて専門スタッフが早期にサポートすることが可能です。また、他の医療機関への予約手続きやかかりつけ医相談、治療・療養生活に関わる相談窓口も同エリア内に併設しており、専門の相談員が親身に対応しています。

患者サポートエリアでは、診療科とも連携しながら患者さんの困りごとに真摯に向き合い、解決に導けるよう患者さんに寄り添いながら日々関わりを大切にしています。

「第10回 紹介医療機関と大阪医科大学病院との連携強化のつどい」開催報告

2025年9月20日(土)、日ごろ本院と連携医療機関登録いただいている病院・診療所を対象に「第10回紹介医療機関と大阪医科大学病院との連携強化のつどい」を大阪ステーションホテルにて開催し、院内外から多くの方にご参加いただきました。

理事長の佐野の挨拶に続き、名誉理事長・相談役の植木から「大学病院スーパースマート・温かみある新本館竣工」の題でお話をさせていただきました。続いて病院長の勝間田を座長に今年度就任した4科の診療科長、新設の胆道高度医療センターの講演がありました。その後の懇親会も、終始和やかな雰囲気で行われました。お忙しい中ご出席いただきました皆様には心よりお礼申し上げます。



10月1日よりオープン検査(CT・MRI)がWEBより予約できるようになりました!

やくばとがさらに便利になりました!



オープン検査開始

詳細はコチラ >



医療連携室ご利用のご案内

WEB紹介予約申込

24時間
365日
申込可!



紹介元の医療機関より基本情報を入力のうえ、患者さんに紹介状をお渡しいただき、紹介状は申込日当日中にFAX送信いただけで、手続きは完了します。

日程調整は患者さんと本院で行います。

※WEBだけでなくFAXからの紹介予約申し込みも可能です。

詳細はコチラ >

広域医療連携センター 医療連携室

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

平日 / 8:30~19:00

土曜日 / 8:30~12:40 (第2・第4土曜日休診)

TEL.072-683-1221 (代表) 内線2308

TEL.072-684-6338 (医療連携室直通)

FAX.072-684-6339 (医療連携室直通)